

## 家庭用燃料電池エネファーム

# かんたん操作ガイド

下記についてご説明します。  
詳細は取扱説明書をご確認ください。

- 1 発電モードを選ぶ
- 2 お湯を使う
- 3 お湯をはる
- 4 今日の実績/エネルギーを見る
- 5 リモコンの説明

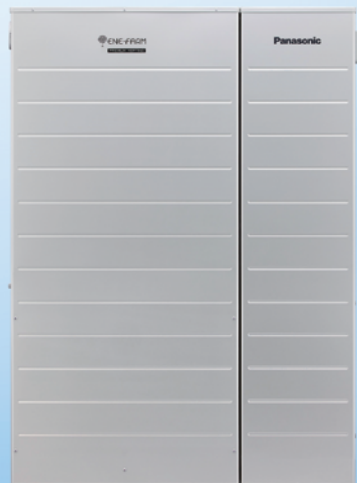
もしものとき～ 停電のとき

もしものとき～ 断水のとき

もしものとき～ ガス停止のとき



■ 標準モデル  
バックアップ熱源機一体型用



ご使用前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、お使いください。

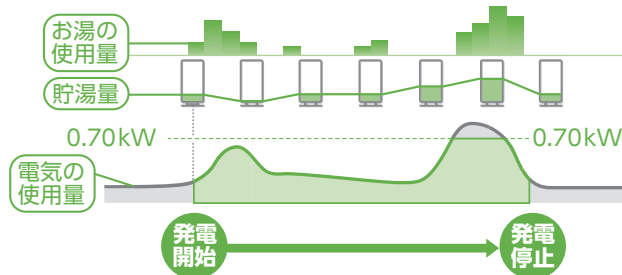
### エネファームの運転方法について

エネファームは発電するときに、電気といっしょにお湯をつくります。つくった電気やお湯をご家庭でご使用いただくことで、エネルギー消費を抑制できます。発電モードは、お客さまの暮らしやお好みに合わせて、以下の7種類からご選択いただけます。

自動発電	おまかせ	とにかく使ってみたい!効率的に運転したい!
	発電優先	発電時間を長くしたい!
	お湯優先	エネファームでつくったお湯をたっぷり使いたい!
予約発電		自分で発電時刻を決めたい!
貯湯量発電		貯湯タンクのお湯を使いきって、満タンになるまで発電したい!
手動発電		今すぐ発電をしたい!
発電切(お出かけ停止)		発電を止めたい!

- 自動発電(おまかせ)以外の発電モードに設定すると、自動発電(おまかせ)に設定した場合と比較して省エネ性が低くなる場合があります。

#### 自動発電(おまかせ)の運転イメージ



#### 自動発電とは

お客さまの1か月間の生活パターン(お湯と電気の使用時間と使用量)を学習し、過去の同曜日4日間の情報をもとに、当日の生活パターンを予測し、お湯や電気が必要なタイミングで発電するようにエネファームの動きを決定する運転方法です。

- 1回の発電時間は、最長120時間(5日間)です(予約発電を除く)。実際の発電時間や発電量は、ご家庭の電気・お湯の使用状況などにより異なります。
- 1回の発電につき、2時間以上の機器内部リフレッシュを必要とします。このため、この時間は発電を停止します。

# 1

## 発電モードを選ぶ

台所  
リモコン

### 1

発電設定 押す



### 2

お好みの<発電モード>を選び、  
確定する



#### ● 自動発電に設定する場合

3 ▼ ▲ でお好みの<自動発電>を選び、**確定**を押す

4 「『○○○○\*1』に変更しますか。」の画面で、「はい」を選び、**確定**を押す  
※1 選択いただいたお好みの<自動発電>

#### ● 予約発電に設定する場合

3 ▼ ▲ で発電の開始時刻を設定し、**確定**を押す

4 ▼ ▲ で発電の終了時刻を設定し、**確定**を押す

5 「予約発電に変更しますか。」の画面で、「はい」を選び、**確定**を押す

#### ● 貯湯量発電に設定する場合

3 「貯湯量発電に変更しますか。」の画面で、「はい」を選び、**確定**を押す

#### ● 手動発電に設定する場合

3 「手動で発電を入/切します。」の画面で、「入」を選び、**確定**を押す

4 「手動発電を開始しますか。」の画面で、「はい」を選び、**確定**を押す

#### ● 発電切(お出かけ停止)に設定する場合

3 「発電切に変更しますか。」の画面で、「はい」を選び、**確定**を押す

# 2

## お湯を使う

台所  
リモコン

浴室  
リモコン

### 1

給湯・ふろ 切/入 「入」(ランプ点灯)にする

### 2

温度を確認する

#### ■ 温度を変えるとき

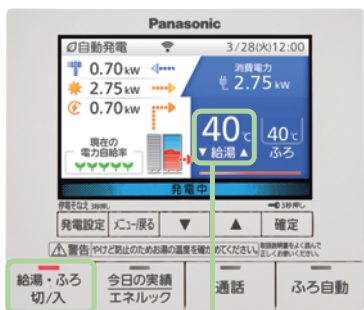
・ ▼ ▲ で好みの温度に変更してください。

・ 給湯温度は、32、35、37～48(1℃刻)、50、55、60℃に設定できます。

### 3

お湯を出す

\* 給湯・ふろ 切/入 が「切」(ランプ消灯)のときはお湯は使えません。



1

2

# 3

## お湯をはる

台所  
リモコン

浴室  
リモコン

### 1

給湯・ふろ 切/入 「入」(ランプ点灯)にする

### 2

ふろ自動 「入」(ランプ点灯)にする

#### ■ ふろ湯温や、ふろ湯量を変えるとき

給湯・ふろ 切/入 「入」(ランプ点灯)にして、**メニュー戻る** → 「ふろ設定」を選び、**確定**を押す

→ 「ふろ温度設定」または「ふろ湯量設定」を選び、**確定**を押す  
→ ▼ ▲ で、希望の温度、湯量を選び、**確定**を押す

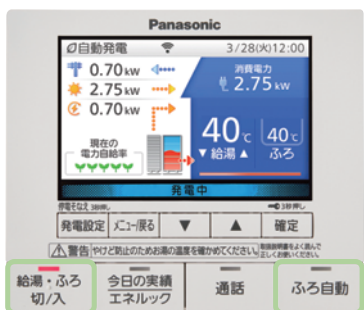
#### ■ 希望時刻にお湯はりを完了させたいとき(台所リモコンのみ)

**メニュー戻る** → 「ふろ設定」を選び、**確定**を押す

→ 「ふろ予約」を選び、**確定**を押す

→ ▼ ▲ で、お湯はり完了時刻(ふろの沸き上がり時刻)を選び、**確定**を押す

\* 予約は1度のみ有効です(繰り返ししません)。お湯はりを行うたびに、予約設定の操作をしてください。



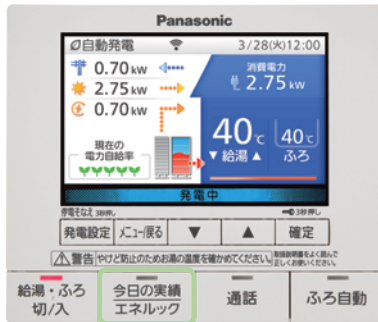
1

2

こんな使い方もできます!

時間帯を決めてふろ予約する  
(発電アシストふろ予約)  
設定した時間内でタンクのお湯が5  
日盛りに近づくとお湯はりをし、満タン  
による発電停止を回避します。  
詳しくは取扱説明書をご確認ください。

今日の実績/エネルギーでは、その日やこれまでの発電量、CO<sub>2</sub>削減量、電気やお湯の使用量などを見ることができます。



## 今日の実績

今日の実績：エネファーム 1/3		昨日
発電	333円 11.1 kWh	10.8 kWh
自給率	60%	56%
タンクのお湯	434L	422L
自給率	80%	80%

## エコ

CO <sub>2</sub> 削減量 (W発電)：累積	
今日	21 + 35 + 14
累計	286672 枚
レシコン	53378.5 km
エアコン	145030 時間

## 発電・W発電



## 使用量



## 「今日の実績」の見かた

- 今日の実績 エネルギー を押す(ランプ点灯)
  - ▼ ▲ で、「今日の実績」を選び、確定 を押す
  - ▼ を押すごとに、  
「今日の実績：エネファーム」画面→  
「今日の実績：太陽光発電<sup>\*1</sup>」画面→  
「今日の実績：エコ貢献」画面が表示されます。  
■ 1つ前の操作に戻るとき  
→ 戻る を押す  
■ 終了・中止するとき  
→ 今日の実績 エネルギー を押す(ランプ消灯)
- ※1 W発電表示設定「入」の場合のみ表示されます。

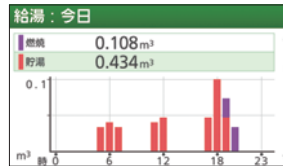
## 「エネルギー」の見かた

- 今日の実績 エネルギー を押す(ランプ点灯)
- ▼ ▲ で、「エネルギー」を選び、確定 を押す  
例) 電気のつくった量を見る場合
- ▼ ▲ で、「発電<sup>\*2</sup>」を選び、確定 を押す
- ▼ ▲ で、「電気」を選び、確定 を押す  
▼ を押すごとに、今日、昨日、今月、先月、過去1年のエネファームの発電量を見ることができます。



例) お湯のつくった量を見る場合

- ▼ ▲ で、「給湯」を選び、確定 を押す  
▼ を押すごとに、今日、昨日、今月、先月、過去1年のエネファームがつくったお湯の量を見ることができます。



- 1つ前の操作に戻るとき  
→ 戻る を押す
  - 終了・中止するとき  
→ 今日の実績 エネルギー を押す(ランプ消灯)
- ※2 W発電表示設定「入」の場合は、「W発電」と表示されます。

詳しくは  
ホームページへ

エネファーム パナソニック

検索

<https://www2.panasonic.biz/jp/energy/FC/>



パナソニック エレクトリックワークス株式会社  
電材&くらしエネルギー事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

- 掲載されている情報は2026年4月現在のものであり、変更することがありますのでご了承ください。
- 商品写真について、ラベル等実物とは異なる場合があります。また印刷色のため色調等は多少異なる場合があります。
- リモコン画像はイメージです。ご使用中のご家庭ごとに数値等は異なります。
- 「エネファーム」は、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社、ENEOS株式会社の登録商標です。

FC-26007-U

2026.04

# 5 リモコンの説明

■各部 ●下記は台所リモコンですが、浴室リモコン・増設リモコンも基本的な操作方法は同じです。

(台所リモコン)

**発電ランプ(青)**

「発電ランプ設定」が「入」で発電中に点灯・表示。(浴室リモコンなし)

**発電設定スイッチ**

発電モードを変更するとき。手動で停電そなえ発電に切り替えるとき。(台所リモコンのみ)

**メニュー/戻るスイッチ**

メニューを表示するとき。前の画面に戻るとき。

**給湯・ふろスイッチ・ランプ(赤)**

リモコンの表示を入/切するとき。給湯・ふろ機能を使うとき。

**今日の実績/エネルギーランプ(赤)**

今日の実績やエネルギー(発電や使用量に関する情報)を表示、設定するとき。

**通話スイッチ・ランプ(赤)**

台所リモコンと浴室リモコンで通話するとき。

**画面表示部**

(下記参照)

**三角スイッチ**

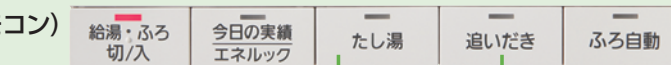
給湯温度や設定内容を変えるとき。

**確定・ロックスイッチ**

選んだ内容を確定するとき。誤操作を防ぐために、ロックするとき。

**ふろ自動スイッチ・ランプ(赤)**

設定した湯量と温度で、お風呂にお湯をはるとき。



**たし湯スイッチ・ランプ(赤)**  
たし湯をするとき。

**追いだきスイッチ・ランプ(赤)**  
追いだきするとき。

■画面

**発電モード表示**

設定中の発電モードを、アイコンで表示します。また、右記の表示を行うことがあります。

■保護動作中

機器を正常に動作させるために、右表の保護動作を行うことがあります。保護動作中は発電を停止しますが、給湯・ふろ・暖房の利用は可能です。

表示	原因
□保護動作中	4日程度お湯を使用していないとき
■保護動作中	電力使用量が多く、ブレーカー遮断のおそれがあるとき
■保護動作中	内部温度が運転可能温度を超えているとき
■保護動作中	発電後、機器内部のリフレッシュをしているとき
■保護動作中	マイコンメータの機能確認をしているとき
■保護動作中	エネファーム内部の水を浄化しているとき

**売電電力/購入電力表示**

← 売電電力 ※1  
→ 購入電力

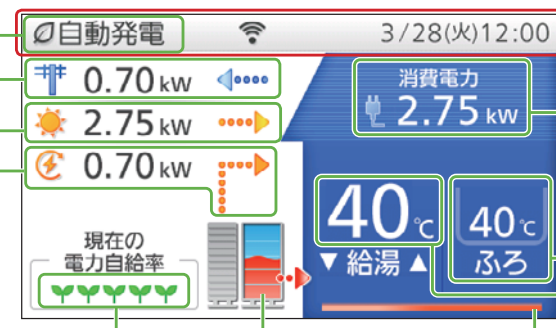
**太陽光発電表示 ※1**

※1 W発電表示設定「入」時のみ

**エネファーム発電表示**

**発電状態表示**

- 待機中 —
- 起動中 (アニメーション表示)
- 発電中 (アニメーション表示)
- 停止中 (アニメーション表示)



**電力自給率表示**

家庭の電力をエネファームと太陽光発電でどれだけ自給できているかを表示します。目盛り(♥)は20%単位で表示します。

**貯湯タンクの残湯量表示**

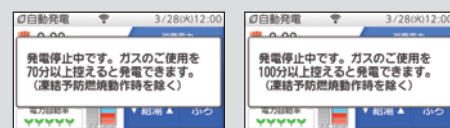
発電中は貯湯タンク内でお湯が波打つアニメーション表示をします。お湯の温度が約45℃以上の残湯量を表示します。5目盛りになると音でお知らせします。

この領域にエラー表示(○OFO、3桁数値など)が出た場合は、取扱説明書をご確認の上、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者までご連絡ください。

**家庭の消費電力表示**  
**ふろ状態表示**  
**給湯設定温度**  
**床暖房状態表示**

「■保護動作中」のときは

「■保護動作中」にガスのご使用が続くと、都市ガスは最長24時間、LPガスは最長36時間、発電を停止します。さらにガスのご使用が続くと、リモコンに右の画面が表示されますので、都市ガスは70分以上、LPガスは100分以上、ガスのご使用をお控えください。



もしものとき

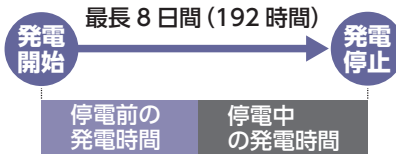
# 停電のとき

停電したときは、ガスと水道が止まっていなければ、  
最大500Wの電力と、給湯、お風呂、床暖房

エネファームは、停電になっても発電を継続できるため、停電中も電気・給湯をご使用いただけます。(発電停止中に停電になった場合は、外部電源をつかって発電を再開させればご使用いただけます)

停電時専用コンセントから、  
最大500Wの発電電力を使えます

最長8日間(192時間)連続発電できます



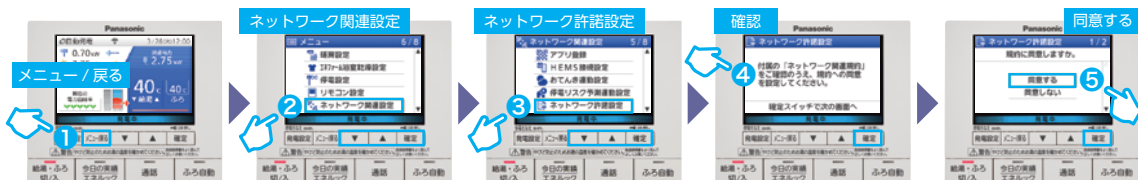
- 給湯やガス温水床暖房に使用する電力も含まれます。
- 停電発生前に発電していた場合、その発電時間も含まれます。

※ パナソニック製インバーター式冷蔵庫について確認

## 事前準備 停電前に設定を確認 台所リモコン

事前に設定・確認しておけば、停電時に操作する必要はありません。

- ① 停電発電モードが「停電発電入」になっていることを確認する 工場出荷時設定「入」
- ② 停電リスク予測連動設定が「入」になっていることを確認する 工場出荷時設定「入」
- ③ ネットワーク許諾設定が「同意する」になっていることを確認する 初期設定必要



ネットワークを経由して、ウェザーニューズ社が提供する「停電リスク予測情報」を受信すると、

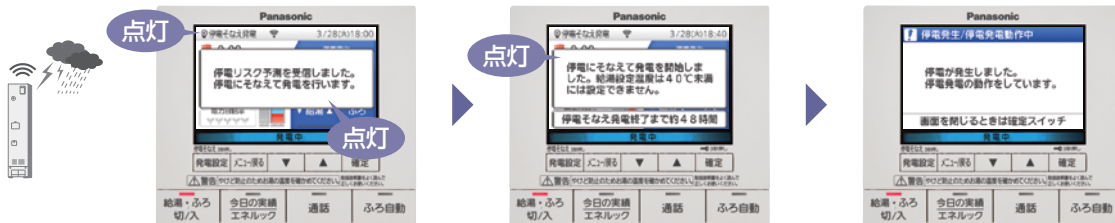
## 自動で「停電そなえ発電」に切り替わります

### 停電リスク予測情報を受信すると

自動で停電そなえ発電に切り替わります

停電そなえ発電を開始します

停電が発生したら、停電発電に切り替わります



発電停止中の場合は、発電開始まで起動時間(都市ガス:約40分、LPガス:約90分)が必要です。

- 停電そなえ発電は48時間継続します。また、停電そなえ発電中は、700Wまで発電ができます。
- 停電そなえ発電中は貯湯タンクのお湯が満タンに近づくと、浴槽にお湯を自動で排水します。

### ご注意

- 発電モードが「発電切(おでかけ停止)」に設定されている場合は、自動で停電そなえ発電に切り替えができません。発電モードを「自動発電」などに変更し、手動で「停電そなえ発電」に切り替えてください。
- 保護動作中は、停電そなえ発電に切り替わらない場合があります。保護動作が終了すると停電そなえ発電に切り替わります。
- 停電そなえ発電は停電時の発電を保証するものではありません。停電リスク予測情報を受信した際のエネファームの状態や、停電発生のタイミングなどによっては、停電発生までに発電を開始できない場合があります。
- 「停電リスク予測情報」は、その地域で非常に強い風速が予測される場合に受信します。台風や暴風などの荒天でも「停電リスク予測情報」を受信しない場合があります。

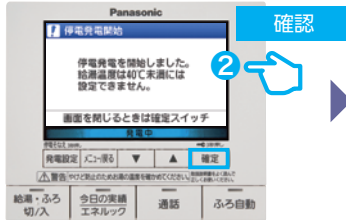
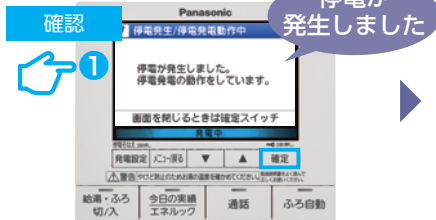
ければ、エネファームで発電して、  
を使うことができます。

ガスと水道が供給状態にある  
必要があります。

## 停電になったら

音声と画面で停電発生を  
お知らせします

「給湯・ふろ 切/入」スイッチを  
「入」にする



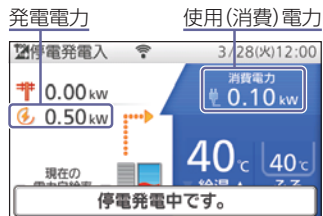
※既に「入」になっている場合、本操作は不要です

使用したい機器を



に接続し使用してください

(停電発電時のリモコン画面例)



- 500Wの電力を使用できるまで、停電発生時から最長約10分かかることがあります。
- リモコン上の「消費電力」の表示を確認しながら、「発電電力」を超えないようにお使いください。
- 停電発電を開始すると、給湯設定温度が40℃未満の場合、自動で40℃に切り替わります。停電発電中は、給湯温度を40℃未満には設定できません。
- 停電発電中は、貯湯タンクのお湯が満タンに近付くと、浴槽にお湯を自動で排水します。浴槽の栓を閉めたままにすると、浴槽からお湯があふれる可能性がありますのでご注意ください。

こんな使い方もできます!

### ①「停電そなえ発電」に手動で切り替える

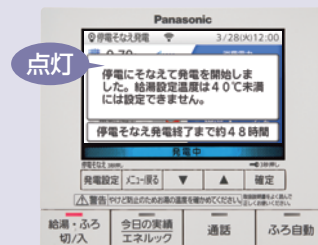
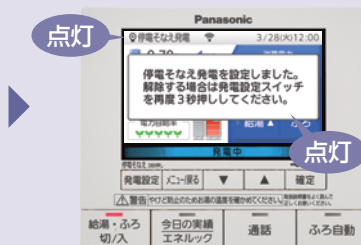
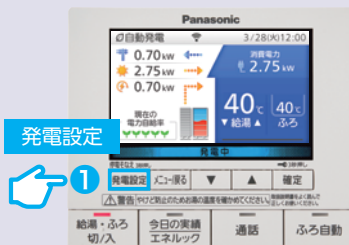
急な天候変化で停電の恐れがある場合や、  
計画停電などに備えたいとき

- ネットワークに接続してなくても使用できます。
- 手動で切り替えるときは、停電が予想される時刻よりも2時間ほど前までに設定してください。

3秒以上押す

停電そなえ発電に切り替わります

停電そなえ発電を開始します



■ 停電そなえ発電をやめるとき 発電設定 を3秒以上押すと、「停電そなえ発電」を終了し、元の発電モードに戻ります。

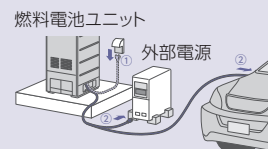
### ②外部電源を使い発電を再開する

発電停止中に停電したとき

エネファームが発電停止中の場合は、携帯型の蓄電池や発電機などと接続することで、エネファームを起動させ、発電を再開させることができます。

詳しい手順は取扱説明書をご確認ください。

- 蓄電池および外部電源の  
使用できる電源の目安  
電圧：AC101V±6V  
出力：1kW以上  
容量：0.5kWh以上

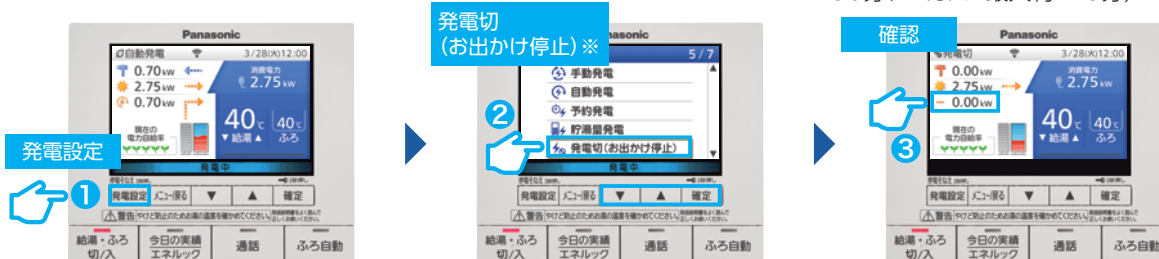


## 事前準備 発電を停止させる

台所  
リモコン

エネファームが発電中・停電発電中(起動中)・発電中(発電中)の場合のみ

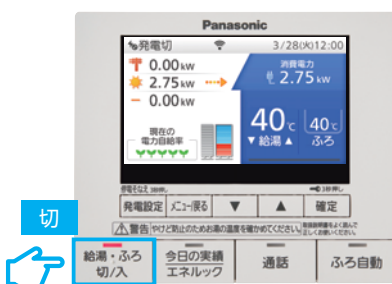
発電状態表示が待機中(—)に変わるまで待つ(都市ガス:最大約90分、LPガス:最大約110分)



※停電発電中の場合は、停電発電モード設定を「停電発電切」にしてください。

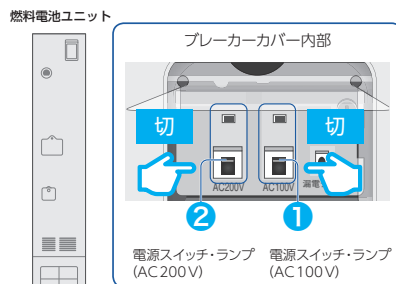
### 1 給水栓・給湯栓を閉め、

「切」にする

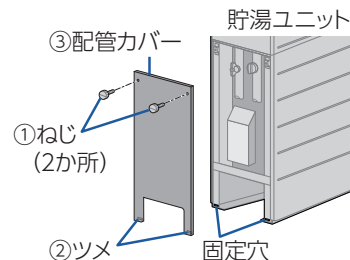


### 2 システム電源を「切」にする

(AC100V→AC200Vの順)



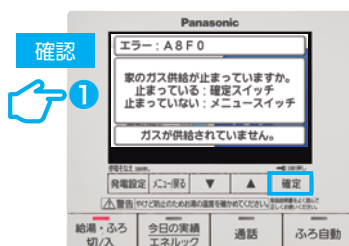
### 3 貯湯ユニットの配管カバーを取り外す



\* 配管カバーの形状は、設置形態により異なります。

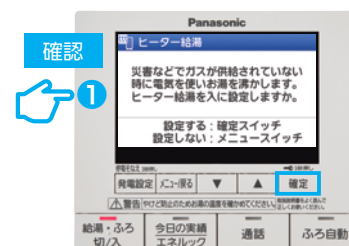
- 貯湯タンクから、約96 Lのお湯(水)を取り出すことができます。取り出したお湯(水)は生活用水として利用できます(飲用は避けてください)。
- お湯(水)は、貯湯タンクの高所水取出口(図のa)と、非常時水取出口(図のb)から取り出します。高所水取出口から取り出し可能な量は約58 Lです。出しきるのに約140分かかります。58 L以上取り出す場合は、非常時水取出口から取り出してください。
- 非常時水取出口からは、内径15 mmの水道ホースを用いると取り出しが容易です。また、お湯(水)は、熱に強い容器で受けてください。水道ホースや容器はお客様にてご用意ください。

### 1 表示画面を確認し、確定する



ガスの停止を確認してください(ガスのにおいがしないことなど、周囲の安全を確認してください)

### 2 表示画面を確認し、確定する



■設定しないとき  
メニューを開き、取扱説明書に従って故障表示「A8F0」の処置を行ってください

て、生活用水として利用できます。

- 4** 栓・バルブなどを開閉する
- ① ガス栓：閉める
  - ② 給水元バルブ：閉める
  - ③ 排水バルブ：90度左に回して開き、すぐに元通り閉める

お湯(水)を受けるため、熱に強い大きめの容器を置く

④ 逃し弁カバーを取り外し、レバーを持ち上げて逃し弁を開く  
小さめの容器を高所水取出口(a)にあてがう

- 5**
- 6** 高所水取出口(a)を左に一回転して開く
- ・一回転以上回さないでください。一回転以上回すと、高所水取出口の取り付け部からお湯(水)がでます。
  - お湯(水)が出始めます。
  - ・取り出したお湯(水)は、必要に応じて大きめの容器に移してください。



**非常時水取出口(b)からお湯(水)を取り出すときは**

手順5～手順6の操作を次のように変更してください。

- 5** 水道ホースの先端を非常時水取出口(b)に差し込む
- ・お湯(水)が水道ホースの外に流れ出ないように、しっかりと差し込んでください。
- 6** 非常時水取出口(b)を左に回して開く
- お湯(水)が出始めます。



- ・貯湯タンクの残水量が多いときに全開にすると、勢いよくお湯(水)が出ます。ゆっくり開き、様子を見ながら回転して調整してください。

- ・出てくるお湯(水)は、最初から高温であることや、途中から高温(最高約80℃)になることがあります。

**■お湯(水)を止めるとき**

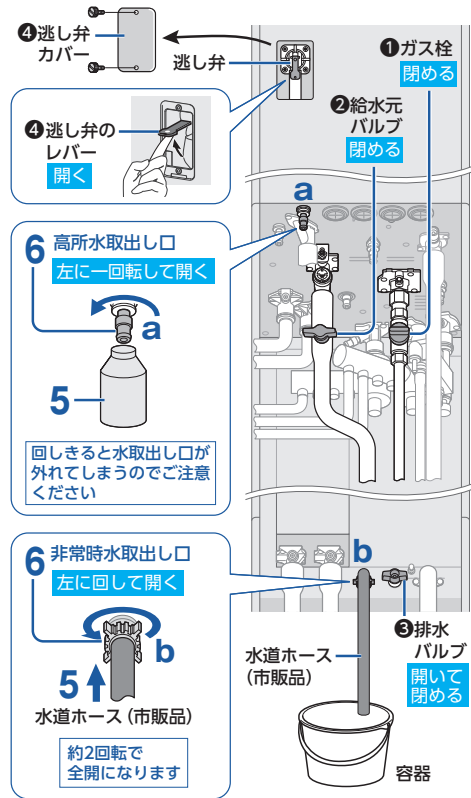
高所水取出口(または非常時水取出口)を右に回して閉じ、逃し弁を元に戻す

- ・取り出しが終了したら、逃し弁カバー・配管カバーを元どおり取り付けてください。

**お湯(水)取り出し後にシステムの使用を再開するとき**

使用を再開するときは、システム電源を「入」にした後、貯湯ユニットの水抜きと、機器の水はりを行ってください。貯湯タンクのお湯(水)を取り出すと、タンクにお湯(水)が残っていても、そのままシステムの使用を再開することはできません。詳しくは取扱説明書をご確認ください。

貯湯ユニット(配管カバーを取り外した状態)  
(イラストはすべての栓、バルブが「閉」の状態を表示)



周囲の安全を確認した上で、機器に異常・故障がなければ、給湯に使用することができます。

**ヒーター給湯を開始します**

(故障表示「A8F0」が表示されますが、ご使用に問題はありません)



- ・「ヒーター給湯」はガス停止時のみ使用できます。停電や断水が発生している場合は使用できません。また、冬期など凍結のおそれがある場合は、凍結予防動作が優先され、その間「ヒーター給湯」は使用できません。
- ・「ヒーター給湯」の場合、お湯がなくなることがありますので、残湯量表示を確認しながらお使いください。
- ・「ヒーター給湯」を使用すると、貯湯タンクが5目盛りになるまでお湯をつくりません。お湯がたまるまでの時間は、以下を目安にしてください。季節や設置環境などによって異なります。

貯湯タンク容量100 L	水温5℃	水温15℃	水温30℃
貯湯タンクの残湯量が0目盛りから5目盛りになるまでの時間	18時間	15時間	9時間

- ・お湯が5目盛りまでたまる「ヒーター給湯」は運転を停止しますが、お湯を使用して3目盛り以下まで減らすと運転を再開します。